

五分館だより

第 16 号

豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 龍共印刷(株)

堀越の今日

H 4. 3. 1 現在
戸 数 9 5 戸
人 口 4 2 3 人

委員選挙に妙案は

総会までに方向を出す

二年に一度行われる区委員の選挙は、その度ごとに必ず二転三転するのが常となっている。今回も同じような状態であった。今年度の総会までに委員選出方法の方向が出るが、今回二人の方に意見をお聞きした。

予備知識を持つて

選挙を

今回の区委員改選に当り

不肖私、計らずも区の委員として選任され、この席をけがす事になりました。元より未熟者では御座居ますが、一旦引き受け致しました以上微力ではありますが、任期中一生懸命おつと

次の総会に

期待

一月二十六日、堀越区総会が行われた。

議案説明、決議は順調にいったが、委員の選挙となると大変時間を要す。回り番？での役員は、一年又は二年すればやめられるが、区の委員ともなるとなかなかやめれないと言う事や、

地区推薦が

最良か

さあ選挙方法について何か良い策はないか、と問われても、なかなか考えは出て来るものではないが、総会の時に出された案、仲間どうしで話し合っている時に出る案等、小耳に挟んだような所から考えてみたい。

総会の時には『推薦』、と言う響きが強く出ていたように感じた。地区なり、仲間なりで推薦をして、総会に於て選挙をする、と言う方法である。しかし、推薦した立場として、選挙では落とす事はできないと考える人も多くいるようだ。

(若い者は少しちがう考えだろうが)

とにかく、現在の選挙の方法は、会場にいる人の顔を見回し、まず現役の方の名前を書き、次に手当たりしだいに……となっている。十名連記では当然の結果と思われる。大変な区の委員をお願いするには、何となく心が欠けている気がする。又、その辺りの事は皆気が

のたびに何となく複雑な選挙が行われて居る様に思います。区政改革で答申が出された通り其の人の事情等考慮する中で、選任されるとか又若い人の御意見として、部落で推薦をして総会

に臨むとか、お互い予備知識を持って出席をされ、スムーズな選挙が行われます様に皆様の御一考をお願い申し上げます。

宮下 正計

ついていると思う。ただ自分さえ委員にならなければ良い的な考えが、問題を引きずっていると思われる。多くの人の話しを総合す

ると、部落などで推薦してと言う声が聞こえてくるが、はたして最高の方法は――総会で皆で真剣に考えましよう。

『常識』の大切さを学ぶ

毛涯先生の講演に身が引き締まる

平成三年度婦人会冬期事業として二月十四日講演会が開催されました。

講師の毛涯章平先生は天満宮天神を揮毫され、縁もあり四十年間の教職退職後、今なお教育委員として活躍されている温厚な先生に思わず襟を正し、身の引き締まる思いが致します。

お話しの内容は『常識』と題し、毎日の生活の中から育つ人生観の大切を、起・承・転・結にわけ、大いなる物に慎みを持ち、思いやりと「忍びざるの心」子供にも家族の一員として生産的自覚を持たせる常識への信念が大切であり、それには教育の中にユーモアと明るい家庭で育てる事の大切さなど、長い教職時代に体

験された心温まるお話しをお聞き出来ました。皆様それぞれに感銘されたのではないのでしょうか。

常識とは毎日の生活の中で簡単に口にする言葉なのに、其の常識に欠けた現代社会陰湿な苛め、親子の断絶などショックなニュースを聞いたたび、明るい家庭から常識ある社会人を育てる事の大切さを学ばせて頂きました。

大切な子供さんを育成される若い方々にこそ聞いて頂きたいと思います。

最後に助言して下さった分館役員の方、協賛頂きました日赤の方、聴講下さった皆様に主催者として厚く御礼申し上げます。

婦人会会長 菅沼和久子

黒谷箋

Part.1

雲仙岳から押し寄せる火砕流、必死に避難を呼びかける消防団や署員、そのすさまじい光景を命懸けで撮影し報道してくれたカメラマン、自然の恐ろしさを改めて思い知らされた。多数の死傷者を出したこの惨事で殉職された方々に心からお悔みを申しあげたい。

昨年は台風の当り年で、私達も十九号と二十一号の台風では農作物収穫前のりんごの落下等農家は大きな被害を受けましたが、青森県等にくらべればまだまだ我慢が出来た。

私達の所は火山災害の心配はいらないが、風水害と大地震の発生はいつおこるかも知れません。大入山はずい分奥の方まで営林署が伐採をしてもう新しいナギがあちらこちらに見られます。

今急ピッチで青木ヶ沢砂防ダムが建設中であります。一日でも早く完成を望みたい。昨年の九月には本村をメインとして二千五百人参加で県の地震総合防災訓練が行われ実践さながらの光景に見入りこれが本当現実には我々の地区でおきたら大変な事だと、あらためて思いしらされました。

宮下 勝美

田島 康嘉

産廃処分場新設は 委員会で現段階反対と決定

産業廃棄物処分場の建設について、賛成、反対の意見が折々に出ていたが、区の委員の中でも話し合いが行われており、この度委員会では、現段階では反対と、言う決定を下した。

昭和五十年の六価クロム、鉍さい問題を契機として、産業廃棄物の処理は大きな社会問題となり、最近では生活の向上に伴う、一般廃棄物の量の増大と質の多様化、特に産業活動に伴う廃棄物の発生量は膨大なものとなり、これによる環境汚染が全国的なセンセーションを

まきおこしております。一発屋Ⅱ作って、入れて、ふたをして、さようなら。バブル経済と同じで作っただけで逃げてしまう、後で重金属カドミウム、四塩化ダイオキシン等が土、空気、水を汚染し人体を廃疾状態にする危険性と自然環境破壊が問題とされている。

堀越へもホテガ沢、堂平等に処分場計画ができましたので昨年末より先進地視察研修会、関係市町村の調査等研究を重ねて来しました。全国に行政と一体となり、優良業者による模範的なモデルケースもあります。処分場ができれば地元土地代や固定資産税、寄附などの収入も見込まれよう。だがそうした目先の利益にとらわれて、県外からの大量の廃棄物を受け入れていった場合、堀越区の場合はマインナ方向へのダメージを深くしていくのではないかと。一口で言えばどんな廃棄物であろうと、わが堀越をゴ

ミ捨て場にはしたくない、自分の住む地域は自分で守る、新設については近隣町村との広域行政による研究を除いては、村外からの持

手巻き寿司でお別れ会

不用品交換会も行なわれる

三月二十日春分の日、堀越子供会ではお別れ会が行われました。十時に区民会館に集合し、午前中は夏の子供祭りに使用するたきぎ取り、昼食の準備、区内のゴミ拾いと各分団に分かれ作業を行いました。昼食会のメニューは、手巻き寿司、フルーツポンチ、



オシャレに手巻きずしで昼食!!

ち込みや、区内へ処分場建設は現段階では反対との結論に委員会で決定しましたので御報告申し上げます。総務委員長 菅沼 明人

新婚さん

いっしょにやさい



林 信子さん・寿彦君

昨年、十二月一日に、飯田市山本から、中宮部落の林寿彦さんと結婚された信子さんは、スケートで有名な株式会社三協精機に勤める二十八才の女性です。スポーツ好きで、特にスキーが得意な女性ですが、

今回は、結婚してユゲも冷めていない二組を紹介しましょう。林寿彦君・信子さんと、平勝彦君・知子さんです。新しく堀越にいられた信子さん、勝彦君に聞きました。今シーズンは行けなくて淋しいそうです。信子さんの言葉「堀越はいろいろな動物に行き逢えて楽しい所」特に会社からの帰宅途中に、イノシシが飛び出して来た時にはビックリ仰天すごい所だなと思っ



平 知子さん・勝彦君

平成三年九月二十九日に平知子さんと結婚された勝

えてもらえないのが淋しいとの事です。今にきくと堀越に溶け込んでゆけるような明るく暖かい女性です。

彦さんは、下條村の出身で二十三才。知子さんと同年です。現在は、飯田市松尾のマンションで二人仲良く暮らしています。勤め先は、盟和産業に勤められていて、休日は主にパチンコに出かけるそうです。他に趣味として、オートバイでツーリングに出かけることです。新婚生活は、と聞いて見たところ「楽しくやっています。」と答えてくれました。これは知子さんも同意。最後に、堀越をどう思いますか、と聞いて見たところ標高が高いと言っていました。

浅漬。園児も一緒にお姉さん達の料理に舌づつみをうちました。昼食の後はレクレーション、この間にお母さん方はおやつ作り、愛情いっぱいのアップルくずもち、スイートポテトなど遊んだ後のおやつは格別でした。そして卒業生には記念品が手渡されました。この日初めての試みとして子供の成長と共に使用できなくなったスケート靴、自転車、グローブなど不用品の交換会も行われました。今年の卒業生は、中学生七名、小学生六名の十三名。四月から始まる新しい生活にも早く慣れて頑張ってください。

黒谷箋

Part.2

桜のたよりとともに弥生も終わりに近づく頃、子供たちはそれぞれの道に進んでいきます。また分館の役員も新しい編成となり出発致します。

ところで、この堀越で今年十八才になる若者は確か六名だと思えます。その後が続いて行く子供たちの人数は、十七才八名、十六才七名、十五才四名、十四才一名、十三才六名の合計三十二名、そして五年後の同世代は三十五名です。このままの人口で推移して行くならば、十年後のこの堀越もすばらしいと思えます。

しかし心配なのは、はたしてこの子供達がこの堀越に後継者として残ってもらえるのか、また、後継者として残ることのできるような環境となっているのか。そのとき私は五十五才、はたして我が子もこの地に住んでいてくれるだろうか。ところで、最近私が読んだ本からの抜粋を紹介させていただきます。

『子供 叱るな
来た道だもの
年寄り 笑うな
行く道だもの』

無名人名語録より
北林 弘